

農業とSNSを考える

今、急速にソーシャルネットワーキングサービス(以下、SNS)の利用が広まっています。友達の友達は友達という概念を実際に体験することのできる SNS は、インターネットの常識を大きく変えました。

私も、SNSのミクシィに参加して、短期間に北海道から沖縄まで多くの農家の方と知り合い、農家の友人(ミクシィでは、友人のことをマイミクと呼びます)が多くできました。

SNSとは、友人や趣味・嗜好・居住地域・出身校あるいは「友人の友人」といったつながりを通じて会員同士が交流し新たな人間関係を構築するネット上の社交場を提供するコミュニティ型の会員制のネットサービスのことです。SNSの主なメリットは、①友人・知人との交流が簡単、②新しいで出会いを広げることができる、③趣味や知識の幅が広がる、ということです。

技術的には、招待制、登録制、日記、友人リスト(ミクシィの場合はマイミク)、コミュニティなど、既存の技術です。代表的な SNS としては、私も参加している日本最大の会員数(約800万人超)を持つミクシィが有名です。特定の趣味・関心事を持つ人が集まる SNS や特定のテーマについて議論する SNS など専門的な SNS も生まれています。

最近では、長野県の農家グループが運営する「オラーノ・信州」という地域SNSなどがスタートしており、SNSが新たな地域づくりのツールとしても注目されています。SNSは、双方向の交流ができ、地域づくりなどへ意見を述べ、参画できるため、定年帰農者や新規就農者など、地域社会に新たに参加しようとする人々が、地域に溶け込むツールとして、SNSに期待が寄せられています。

SNSは、①農家と農業に関心がある人との交流により、就農前に、農業の情報を集めることができる、②生産者、流通業者、消費者まで各セクションの幅広い分野の人々の意見を前もって聞ける、③新規就農を希望する人々との交流により、同じ立場で情報交換、悩みなどを語り合えて、仲間を増やすことができ、一体感が生まれるなど、新規就農者や農業実地研修を目指す人々と農業後継者と担い手不足の農業地域をつなげなげる交流の場としての活用が期待できます。

SNSが普及するなかで、農業 SNS も出来ています。その一つが、農業に興味のある人や農業従事者が交流できる「あぐり SNS(<http://agri.uxu.jp>)」です。

また、私が参加している SNS のミクシィにも、全国の農家の方から日記の投稿やコミュニティへの書き込みがあり、悩みや喜びなど農家の本音がそこから読み取れます。

ミクシィのなかには、テーマ別のコミュニティが無数あり、農業関連のコミュニティも多くあります。多くの農家に参加して、農家同士また農家以外の方と交流の場となっています。

ミクシィの主な農業関連コミュニティを紹介しますと、次のとおりです。「農業やりませんか?」、「ビジネスとしての農業」、「新しい農業」、「『超』本物農業ネットワーク」、「農業ビジネス」、「[dir]農業」、「農業ルネサンス」、「新規就農集まれ!」、「有機農業の会」、「バイオダイナミック農業」、「女性の農業」、「自然農法」、「農業に就職研修」、「農業・農業機械・農作業のコミュ」、「農村開発」、「永田農法」、「半農半X」、「農業で今日したコト学んだモノ」、「農業デザイン」、「今、農業がアツい!!!!!!」、「農業」等々。特に、農業技術に関するもの、新規就農者、有機農法に関するコニ

ニティが多いです。変わったところでは、女性の農業者のコミュニティもあり、また、農家の花嫁を募集する「花嫁募集中農家募集」というユニークなコミュニティもあります。

このような農業関連のコミュニティでは、農業技術について農家が情報交換をしたり、新規就農者の悩みやこれから農業に挑戦したいと思っている就農希望者へ、先輩農家がアドバイスするなどの交流が行われています。農家の数の減少していくなか、農業技術のノウハウも誰に伝承されず、消えていくことも危惧されますが、既存の農家と農業に取り組む人たちが交流して農作物の栽培方法や農業経営管理を、実際の農家から学べる機会の場としてとなっており、SNSの役割は大きいと思います。

実は、私もミクシィの中で、「農業所得を増やすこと。儲かる農業の実現」を目的とする「農業経営研究会『脳の会』」というコミュニティを立ち上げています。そのコミュニティの管理人もしています。そのコミュニティの名称の『脳の会』の意味は、農業を、脳業にひっかけました。農業を、ソフトと言う観点から考えようという意味です。今年1月に立ち上げましたが、現在の参加者数は200名を超え、多くの農家が参加しています。農家はもちろん、農業と食の安全・安心に関心のある流通・小売業界等の方や消費者も参加しており、幅広い層の方と情報交換ができる場を提供しています。

「農村は高齢化・過疎化で、活気がない」と一般には、言われているが、これは正しくないと思います。ミクシィで出会った北海道の若い農家の方は、「世界の農家」になると私の日記に書き込んでおられます。また女性の農家の方も元気です。和歌山のある女性は、農家の嫁として家事もこなす一方、同じ和歌山の女性の農業者を集めて「和歌山の農◎(乙女野菜)」というコミュニティを立ち上げて、パソコンで交流しています。ミクシィに参加している農家は、情報の交流を好み、情報発信力もあり、コミュニケーション能力に優れた方が多いのに驚かされます。これまでのように、居住地の狭い範囲での情報やJA等から一方的に流れてくる情報には満足せず、SNSを活用しながら、自らも日記やコミュニティでの発言し、情報発信を行い、いろいろな人と交流し、広い地域からの情報、居住地域外の農家からの情報、異業種からの情報を入手している革新的な農家が多く、ITを使いこなす農家が増えてきていることが、ミクシィを通して肌で感じます。

このようなSNSの仕組みを使ったコミュニティサイトは、農業に興味のある人が交流を図れる場を提供し、また、農業に挑戦したいと思っはいるが、どうしたらいいのかわからない若者達と農家を結び、日本の農業の底辺を拡大に役立ることが最も期待されます。

最後に、mixi 八分(ミクシィはちぶ)という言葉をご存知でしょうか。ミクシィから排除されている状態や、特定の利用者を排除する行為を村や集落で掟や秩序を破った者に対して課される村八分をなぞらえた言葉です。皆様もくれぐれもmixi 八分に陥らないことを希望します。

以上